

誰もが安心して暮らし、 活躍できる鹿児島を目指して

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、目頃から、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

併せて、新型コロナウイルス感染症につきましては、手洗いや手指消毒、マスクの着用、換気対策の徹底など、感染拡大の防止に向けて御協力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされた年でありました。全国で感染が爆発的に拡大した8月には、本県においても感染が急拡大し、まん延防止等重点措置の適用、本県独自の緊急事態宣言の発令など、これまでにない非常に厳しい局面を経験しました。引き続き、気を緩めることなく、医療提供体制の強化やワクチン接種の促進、感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする対策などに全力を挙げて取り組んでまいります。

そのほか、二度にわたる豪雨災害の発生や奄美群島への軽石の大量漂着など、自然の脅威と不断の防災対策の重要性にも思いを致した年でした。

一方で、明るい話題もありました。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録され、これにより、本県は二つの世界自然遺産を有する唯一の都道府県となりました。登録に向けて御支援いただいた国、沖縄県、地元市町村、関係団体や地域住民の皆様から感謝申し上げます。

また、東京2020オリンピック競技大会では、本県ゆかりの多くの選手が活躍され、特にソフトボールの川畑瞳選手、女子柔道78kg級の濱田尚里選手が金メダルを獲得するなど、多くの県民に夢と感動を与えていただきました。

さて、今年はいよいよ5年に一度の「全国和牛能力共進会」が本県で開催されます。前回大会では、「鹿児島黒牛」が悲願の「和牛日本一」に輝きました。鹿児島大会でも、全国一の和牛生産県として連覇を目指してまいります。大会期間中は、全国から来場される皆様をおもてなしの心でお迎えし、鹿児島の食、観光、文化の魅力を十分に満喫していただきたいと考えております。

現在、我が国は、「ウィズコロナ」という新たな局面を迎えており、今後は、時代の潮流にも強制的確に対応できる社会、安心・安全で持続可能な地域社会を構築していく必要があります。

私としましては、新型コロナウイルスの収束を見据え、本県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業の更なる振興、製造業の競争力の強化、新産業の創出に取り組み、経済を持続的に発展させることで、「稼ぐ力」を向上させることに、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備や高齢者が健やかで生きがいを持てる社会の形成などに取り組み、これらを基盤として、将来にわたって高齢者や女性、障害者、子どもなど、誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島をつくるため、今後とも「誠実に」、「着実に」県政の推進に全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

終わりに、県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い一年でありますよう、祈念申し上げます。



令和四年 元旦

鹿児島県知事 塩田 康一